

佐渡地域医療・介護・福祉・提供体制協議会

令和2年度 第1回 通常総会 議事録

1 開催日時及び場所 令和2年8月27(木) 午後7時
新潟県厚生連佐渡総合病院 2階 講堂

2 会員総数、出席者数及び出席者氏名

(1) 会員総数 40名

(2) 出席者数 28名

(会員名)

一般社団法人 佐渡医師会	会 長	中山 秀英
新潟県厚生農業協同組合連合会 佐渡総合病院	病院長	佐藤 賢治
新潟県厚生農業協同組合連合会 真野みずほ病院	病院長職務代行	平野 ゆかり (代理)
佐渡市立両津病院	院 長	石塚 修
佐渡市立相川病院	院 長	吉井 章
医療法人 おけさ会 佐和田病院	理事長	三輪 智久 (代理)
一般社団法人 佐渡歯科医師会	会 長	児玉 信彦
佐渡薬剤師会	会 長	金子 正規
公益社団法人 新潟県看護協会 佐渡支部	佐渡支部長	渡辺 桂子
新潟県リハビリテーション専門職協議会 佐渡支部	理学療法士	金子 義弘
社会福祉法人 佐渡市社会福祉協議会	会 長	和田 幸雄
社会福祉法人 小佐渡福祉会 特別養護老人ホームはもちの里	園 長	川口 武彦
社会福祉法人 佐渡前浜福祉会 特別養護老人ホームスマイル赤泊	施設長	永井 恭子
社会福祉法人 佐渡ふれあい福祉会	理事長	末武 雅之 (代理)
社会福祉法人 庄やの里 介護老人保健施設 親里	施設長	小田 隆晴
社会福祉法人 よつば福祉会	理事長	山下 峰生
社会福祉法人 庄やの里 介護老人保健施設 親里	施設長	小田 隆晴
どんぐり訪問看護ステーション	所 長	後藤 和美
有限会社 ケアプラン事務所きくち	管理者	菊池 博美
合同会社 一期一会 居宅介護支援事務所 コンパス	管理者	安藤 篤弘
公益社団法人 新潟県介護福祉士会	副会長	中村 和弘
社会福祉法人 佐渡福祉会	理事長	弾正 佼一 (代理)
社会福祉法人 佐渡国仲福祉会	理事長	本間 攻

社会福祉法人 とき福祉会	理事長 末武 正義
社会福祉法人 しあわせ福祉会	理事長 佐藤 美恵子
社会福祉士会 佐渡地区	社会福祉士 本間 奈美
新潟県佐渡地域振興局	地域振興局長 樺澤 尚
佐渡市	市長 渡辺 竜五

(3) 欠席者数 12名

(会員名)

新潟県厚生農業協同組合連合会 南佐渡地域医療センター	センター長 永井 大志
社会福祉法人 佐渡寿福祉会	理事長 山本 充彦
社会福祉法人 大佐渡福祉会	理事長 清水 紀治
社会福祉法人 愛宕福祉会 特別養護老人ホーム新穂愛宕の園	施設長 伊澤 宏二
新潟県厚生農業協同組合連合会 介護老人保健施設さど	施設長 土田 勲
医療法人 愛広会 相川愛広苑	施設長 富崎 安夫
株式会社 佐渡厚生会 十季のあかり佐渡	代表取締役 門口 茂
株式会社 老介護とき	代表取締役 明畑 章
ツクイ佐渡りょうつ	所長 後藤 正則
合同会社 和 ケアプランかず	管理者 木下 直美
リハビリ特化型デイサービスミーお	管理者 本間 崇史
ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟	代表理事 高見 優

3 審議事項及び議事の経過の概要及び議決結果、議事録署名人の選任に関する事項

(1) 開会

事務局が開会を宣言した。

(2) 開会挨拶

中山会長が挨拶をした。

(3) 議長及び議事録署名人選出

事務局提案により議長及び議事録署名人が以下のとおり選出された。

議長	中山 秀英
議事録署名人	中山 秀英
	金子 正規
	本間 奈美

(4) 議事

議長は議案第1号を上程した。

① 議案第1号 「令和元年度 実績報告（案）について」

事務局が、資料に基づき議案第1号を説明した。

議長が意見・質問を求めると、特に発言がないことから承認の可否を諮り議決承認した。

② 議案第2号 「令和2年度 事業計画（案）について」

事務局が、資料に基づき議案第2号を説明した。

議長が意見・質問を求めた。

小田施設長： 各部会でいろいろ頑張っていることは分かりますが、今、佐渡市で一番困っていること、一番やらなくてはいけないことを、もう少し具体的に述べていただいて、そして今年やらなくてはいけないことはこういうことだと、もう少し詳細に決めることはできないか。かなりワイドで広すぎる。今、佐渡市の医療・介護・福祉で一番問題になっているところはどこか。ポイントを決めてから進まない、ただだらだらといくだけではないでしょうか。もう少しどこをやるのかをはっきりしていただかなければ、非常にスローになって、しかも新型コロナの問題もありますし、なかなか進んでいかないのではないかと思います。いかがでしょうか。

中山会長： 要するに、目的をもっとしっかり持てということですね。そして円滑にスピーディーにやれということですか。

小田施設長： 今の佐渡で、医療・介護・福祉の問題点がどこにあるのかを、もう少し具体的に決めて。例えば、佐渡総合病院の医療人がだんだん少なくなっていくとか、内科医がもの凄く高齢化していて、もうすぐ後期高齢者だけになり、それで果たして在宅ができるかどうかとか。そのように絞っていただいて、もう少し具体的なところにポイントを置いてやっていただきたいと思います。これは私の意見です。

佐藤病院長： おっしゃるようにポイントを絞ってというのは分かるのですが、非常に範囲が広く、あっちを立てればこっちが立たないという話の連続におそらくなると思います。

協議会を立ち上げて3年経ちましたが、そういったことをトータルで話を進めていこうというところに、この協議会があるのだと私は考えています。かな

りミクロの部分については、施設単位でそれぞれ問題を抱えているとは思いますが、ミクロで解決できる部分もあれば、お互い連携しないと解決できない部分が多々あって、これを紐解いていくと全部繋がる話になるかと思うのです。

おっしゃるように従事者の高齢化は極めて問題で、そこがこの協議会を作った大本になります。様々な従事者がどんどん高齢化していき、住民が高齢化すれば従事者が高齢化しないわけがないので、そこを改善しようとするとなると、どうやって人を呼び込むか、という話になってきますし、どうやって人を呼び込むかは、今回の学習・研修部会のコアになっていると思います。

ただ、これから数年で解決するような話にはならない。数年で解決できる方策があれば、全国でこんな苦勞することはないだろうと思います。ですから具体性を持って、かなり小規模なマクロで解決の話をするとは非常に困難かなと思います。ある一時期にこの話題について協議することは可能かと思いますが、協議した結果、解決しなければならないことがおそらく芋づる式に増えていく。そこを考えるためには、たぶん佐渡病院や小田先生のところだけで考えることはできなくて、行政・医療・介護、更に福祉を含めるということではいかないと、いけないかと思います。急がば回れみたいな、そんなイメージにしか解決策はできないのではないかと思います。

石塚病院長： おっしゃる通りで、具体的な話し合いをしていく必要もあるし、全体として話し合うことも必要だと思います。人が足りないのは事実なので、住民の高齢化はスタッフなど医療・福祉関係者の高齢化ということですから、全体で話し合いながら、的を絞ってやるようなやり方が必要とは思いますが、具体的に今、どういうことがいいかは分かりません。市長も来られていますから、やはり医療・福祉・介護関係と行政等で協力しながらやるということは、他の地域よりももっと必要になってくると思いますので、是非、この会でどういう方向にするかを話し合うことが必要だと思います。

渡辺支部長： この協議会の方に携わらせていただいて、いろんな発見があり、医療・介護・福祉・行政、いろんな立場で皆の意見を出すことが、いろんなところで進んできているんだなと思います。全体的なところについては、少し分からないところもあるのですが、何とか協力していい形になっていったらいいなと思います。

中山会長： 小田先生の言うことは、皆さん、けっこう心に響くものがあるのだろうと思います。それはそれとして受け止めておきたいと思います。

議長がその他の意見・質問を求めるも、特に発言がないことから承認の可否と諮り議決承認した。

③ 議案第3号「佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会 役員体制（案）について」

事務局が、資料に基づき議案第3号を説明した。

議長が意見・質問を求めるも、特に発言がないことから承認の可否を諮り議決承認した。

議長が佐渡市長に感想を求めた。

渡辺市長： 先般、医療体制のことを知事との懇談会で上げさせていただきました。知事に申し上げたのは、このまま手をこまねいていたら医療体制は崩壊すると。崩壊すると何が起きるかという、地方創生もへったくれもございませんと。若者が住む島を作りたい中で、医療はライフラインで、介護も福祉もそうですが、そのもの自体が成り立たないということは、もう佐渡に若者は住むなということと同意語である、というくらいまで知事の方にお話を申し上げております。

ベストはもちろん若い先生や看護師なり人がたくさん来て、医療・介護・福祉が連携できることが一番よろしいのですけれども、今、全国でも特に新潟県、人材不足は簡単には解決しない状況でございます。その中で、こういう会を通じてベストではないのですがベターな取り組み、どうしたら貴重な少ない人材を有効に使いながら、患者さんや対象となる方含めて、皆さん方が適正な医療・福祉・介護を受けれるか、そういう部分をしっかりと議論しながら進めていく会議だと考えておりますので、皆様方のお知恵をいただきながら、行政としても出来る範囲、最大限頑張っていきたいと考えております。

またこれはお願いなのですが、皆様方関連で、もし医療の方・介護の方が「佐渡に住んでみたい」というようなお話がある方がいましたなら、私自身がそこに行って、交渉して、何とか来てほしいということで、飛んでまいりますので、そういう人材確保の情報も市の方と連携して教えていただければ幸いかというふうに考えております。

精一杯頑張りますので、また皆様方のお知恵をいただきながら、取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

議長が議事の終了を告げ、退任した。

(5) その他

事務局より今後の会議（Web会議）の持ち方について説明があった。

事務局より会員へ質問等を求めた。

小田施設長：今日は、新型コロナについて、医療・介護等々の連携について、少しお話があるのではないかと考えていたのですが、佐藤先生ありがとうございました。新型コロナのときに、貴重なデータをいただきまして我々助かりました。厚労省あるいは老健協会から、そういう連絡は来るのですが、我々としてはどう動いていいのかわかりません、非常に困りました。ただ、日本で高齢者の死亡が少ないのは介護が頑張っているということに尽きると思います。欧米では死者の50%が施設の高齢者だそうです。この提供体制協議会がある程度そのへんの情報を、全部いろいろな施設に示していただければいいかと思って待っていましたが、それが来なかったということで、我々は厚労省とか老健協の支持のままに動く以外になかったということです。

他の地域では新型コロナの感染対策の協議会が行われています。東京などもちゃんと行われています。是非、佐渡市においても、せつかくこういう会があるのですから、動いていただきたかったな、と思っております。

佐藤病院長：今、コロナの話がありましたが、これまでうちの病院の取り組み、コロナに対する考え方を行政・医師会・歯科医師会・薬剤師会等々に出してまいりましたが、皆さんのところへ届いていますでしょうか。

情報は錯そうするし、メディア・テレビ等を見ても混乱するだけだと思って、なるべく整理する格好でそれを出すよう努めてきました。是非、参考にしていただきたいと思います。今迄の知見をまとめたものがあるので、お話しする機会がいただければと思いますが、いかがでしょうか。(お願いします。)

佐渡総合病院 佐藤病院長より資料に基づき「新型コロナウイルス感染症に関する情報提供」として発言があった。

(6) 閉会挨拶

和田副会長が挨拶をした。

事務局が、午後8時00分、佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会 令和2年度 第1回 通常総会の閉会を宣言した。

以上の顛末に相違のないことを認め、押印する。

令和2年8月27日

中山 秀英



金子 正規



本間 奈美

